

「元気とやま」むらづくり推進大会2014の開催

富山県主催による「元気とやま」むらづくり推進大会2014が、8月25日富山国際会議場メインホールにおいて、農業及び土地改良関係者等約800人が出席して開催されました。農業・農村の振興と多面的機能の発揮を図るため、中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払制度、耕作放棄地対策や都市農山漁村交流を推進しており、これら取組の必要性や成果を県民に広くお知らせするとともに、活動指導者の情報交換等を図るために開催されたものです。

石井隆一知事の挨拶のあと、来賓として雑賀幸哉北陸農政局長、高平公嗣県議会議長、河合常則富山県土地改良事業団体連合会長の挨拶がありました。

引き続き今年度 農村振興・環境保全優良活動コンクール知事賞の受賞5団体に知事から賞状が贈られました。

その後、食文化プランナーの村上由紀氏（有限会社食養生代表取締役）による「農村で育まれた食文化を活かした交流とむらづくり」と題した基調講演。5月に内閣官房・農林水産省の『ディスカバー農山漁村(むら)の宝』に選ばれたNPO法人大長谷村づくり協議会理事長村上光進氏による「自然あふれる山里“大長谷”を舞台とした、農援隊などの地域活性化活動」と題した特別講演がありました。

続いて、一日市場の参加者からのPRと、事例発表として受賞5団体から活動内容について発表があり、最後に魚津市黒谷・山女集落の黒田美弥次氏により「元気にむらづくり」に向けて総力を挙げて取り組むとの大会宣言が読み上げられました。

ホワイエでは、パネル展示や14団体の特産品の販売コーナーが設けられ、一日市場として賑わいました。

優良活動受賞団体は、次の5団体です。◇八町地区環境改善活動組織（富山市）◇里山活性化協議会（高岡市）◇黒谷・山女集落（魚津市）◇赤毛集落（氷見市）◇五ヶ種ふるさとを守る会（砺波市）

